中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】UR-34

申請日	2022/9/15	承認日		委員長	印
レジメン登録	2022/10/17	仮承認日		承認者	印

Pembro(6week)+Lenvatinib	病名	腎細胞癌	泌尿器　科	医師名	Dr
対象	根治切除不能または転移性の腎細胞癌の一次治療				

薬剤商品名（一般名）	投与量（mg/㎡等）	投与方法（div.iv.po等）	投与スケジュール（日） 1				5			8		10					15					20					…					42
レンビマ(レンバチニブ)	※4～20mg/Day	po	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	400mg/Body	div	○																													

投与間隔・休薬期間等：　42日＝1コース

1コース

当院患者治療目的以外は使用不可

【投与処方例（前投薬など）】**インラインフィルターを使用する**

レンビマ投与中は、タンパク尿・血圧測定を実施。

手足症候群予防のために、開始時より保湿剤（尿素配合クリーム）の処方を行う。

※小手術は2日後、大手術では7日後に十分回復し出血リスクがなければ再開可能。

※小手術では2日前、大手術では7日間以上前までに中止。

術後補助化学療法は認められていない。

① メインキープ【緑】生理食塩液250mL　/div

②　　メイン【赤】生理食塩液100mL＋キイトルーダ　/div 30分

（最終濃度が1～10mg/mlとなるよう希釈）

＊減量は認められていない

※レンビマは1日1回　1回20mgを内服。なお患者さんの状態により適宜減量する。

減量段階基準	1日投与量
通常投与量	20mg

中津市立中津市民病院　がん化学療法委員会　＜無断転用禁止＞

1段階減量	14mg
2段階減量	10mg
3段階減量	8mg
4段階減量	4mg

参考文献: KEYNOTE-581試験
R.Motzer et al. N Engl J Med 384; 14, 1289-1300, 8, 2021